

相馬市内におけるコウキヤガラの発生状況

福島県農業試験場相馬支場
平成15年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

水稻－水稻－雑草発生、雑草防除
分類コード 01－01－19200000

2 担当者

島宗知行・大谷裕行

3 要旨

近年、相馬市の海岸に近い岩子地区の農家から、カヤツリグサ科の多年生雑草であるコウキヤガラの防除方法について相談を受ける機会が増加している。そこで、相馬市内におけるコウキヤガラの発生状況を調査した。

- (1) コウキヤガラは、相馬市内の海岸に近い水田や転換畑で、広範囲に渡って分布していた。
- (2) コウキヤガラは、黒褐色で非常に硬い塊茎から出芽する。茎の断面は三角形で、地下茎で増殖する。葉表面に油を塗った様な光沢があるため、現地では「アブラスゲ」と呼ばれ、別種のカヤツリグサ科多年生雑草である「ミズガヤツリ」と混同されていた。
- (3) コウキヤガラは、ベンスルフロンメチルを含む土壌処理剤と、ベンタゾン液剤による体系処理が最も有効とされている。そこで、本体系処理を、現地圃場で実施した事例では、十分な除草効果が認められた。
- (4) ベンタゾン液剤は、小型の個体には効果が劣るとされる。除草効果を上げるためには、ベンタゾン液剤を、コウキヤガラが30cm程度に生長してから処理する必要がある。

4 その他の資料等

なし